

# 平成 29 年度 国立情報学研究所実務研修 報告書

提出日：平成 30 年 2 月 16 日

所属：一橋大学附属図書館

氏名：石山 夕記

## 目次

- 1 研修目的
- 2 研修先および研修期間
- 3 研修日程
- 4 研修成果
- 5 受入体制・研修環境
- 6 研修を終えて

## 1 研修目的

JUSTICE 事務局において、出版社交渉や運営委員会・作業部会の活動を経験することにより、電子資料契約業務、コンソーシアム活動および学術情報流通の動向に関する理解を深める。また、新任交渉担当者に対する支援ツール（交渉作業部会委員向け提案書チェックリストおよび「はじめての出版社交渉」）の作成を行う。

## 2 研修先および研修期間

研修先：国立情報学研究所 学術基盤推進部 図書館連携・協力室

研修期間：平成 29 年 11 月 20 日（月）～平成 30 年 2 月 16 日（金）

## 3 研修日程

週	研修内容	イベント・打合せ
第 1 週	11/20～11/24	
	研修開始 諸手続き 研修テーマ検討・情報収集	11/20 実務研修開講式、オリエンテーション JUSTICE 事務局打合せ 11/21 防災訓練 実務研修テーマ打合せ 明治大学での業務打合せおよび中央図書館見学 11/24 出版社交渉 1 件

		業務打合せ
第2週	11/27～12/1	
	研修テーマ決定・データ分析	11/27 JUSTICE 事務局打合せ 出版社交渉1件 11/28 実務研修テーマ打合せ 11/29 業務打合せ
第3週	12/4～12/8	
	データ分析 運営委員会補助 Web 会議準備	12/4 JUSTICE 事務局打合せ 実務研修テーマ進捗打合せ 12/6 運営委員会 12/7 LYRASIS (アメリカ) との Web 会議
第4週	12/11～12/15	
	提案書チェックリスト原案作成	12/11 JUSTICE 事務局打合せ 12/14 実務研修テーマ進捗打合せ 紀伊國屋書店電子書籍セミナー参加 12/15 業務打合せ
第5週	12/18～12/22	
	交渉作業部会委員への意見募集 インタビュー調査 (2名)	12/18 JUSTICE 事務局打合せ 実務研修テーマ進捗打合せ 12/19 出版社交渉2件 12/20 出版社交渉1件 12/21 インタビュー1件 国立大学図書館協会シンポジウム参加 12/22 JUSTICE 事務局打合せ
第6週	12/25～12/28	
	国内電子書籍導入検討チーム会議 補助 インタビュー (3名)	12/25 海外調査打合せ インタビュー1件 国内電子書籍導入検討チーム 会議 12/26 出版社交渉1件 インタビュー1件 12/27 インタビュー1件 実務研修成果報告会
第7週	1/4～1/5	

	インタビュー (1名)	1/5 インタビュー1件
第8週	1/9~1/12	
	インタビュー (4名)	1/9 JUSTICE 事務局打合せ 所長年頭挨拶 学術基盤推進部業務報告会 1/10 インタビュー2件 1/11 インタビュー1件 業務打合せ 1/12 海外調査打合せ インタビュー1件 JUSTICE 事務局打合せ
第9週	1/15~1/19	
	海外出張 (イギリス)	1/16 Jisc Collections へのインタビュー 1/17 RLUK, Imperial College London へのインタビュー
第10週	1/22~1/26	
	提案書チェックリスト改訂 インタビュー (3名)	1/22 JUSTICE 事務局打合せ 1/22 業務打合せ 1/24 海外調査打合せ 業務打合せ 1/25 インタビュー1件 1/26 東京大学附属図書館研修プログラム参加 インタビュー1件
第11週	1/29~2/2	
	広報作業部会補助 運営委員会準備 インタビュー (1名)	1/29 JUSTICE 事務局打合せ 広報作業部会 運営委員会 1/30 実務研修テーマ進捗打合せ インタビュー1件 2/2 海外調査打合せ 実務研修テーマ進捗打合せ
第12週	2/5~2/9	
	提案書チェックリスト改訂 「はじめての出版社交渉」作成	2/5 出版社交渉 1件 学術基盤推進部業務報告会

		2/7 出版社交渉 1 件 業務打合せ
第 13 週	2/13～2/16	
	提案書チェックリスト公開 「はじめての出版社交渉」公開	2/13 JUSTICE 事務局打合せ 2/16 実務研修報告会, 閉講式 出版社交渉 1 件

#### 4 研修成果

##### (1) 交渉担当者向け提案書チェックリストの作成および「はじめての出版社交渉」の作成

JUSTICE において、出版社から提出される提案書の件数および出版社との交渉回数は年々増加傾向にあり、それに伴い、提案書のチェック作業および交渉力の向上という課題の重要性が増している。そこで本研修では、交渉作業部会委員が提案書確認作業の効率化を図るためのツール、および交渉担当初任者や会員館担当者にとって交渉の参考となるツールを提供することを目的とした。

具体的には、2017 年度交渉対象となった提案書（電子ジャーナル製品）について、交渉の記録を提案書の項目ごとに分類し、チェックリストを作成した。また、2017 年度交渉対象となった提案書（電子ジャーナル製品）について、交渉記録を基に、交渉学などの参考文献に挙げられる交渉のポイントごとに、実例となるコメントを抜粋するとともに、交渉経験が豊富な JUSTICE 関係者へのインタビューの内容を取りまとめ、「はじめての出版社交渉」を作成した。

成果物は、JUSTICE ウェブサイトの会員館限定ページ上に掲載した。これらの調査を通じて、交渉をスムーズに進めるための視点や考え方について、理解を深めることができた。

##### (2) 出版社との交渉・打合せへの出席

約 3 か月間の研修期間中、9 件の出版社との交渉・懇談に同席した。チーム交渉や本交渉の前に、事務局がどのようにして予備交渉を行っているかを知ることができた。

##### (3) JUSTICE 関連行事の運営・参加

2017 年度第 3 回および第 4 回 JUSTICE 運営委員会、第 2 回 JUSTICE 広報作業部会、第 1 回電子書籍導入検討チーム会議に出席し記録を取ることで、事務局・運営委員会・作業部会委員が、どのように連携しながら、JUSTICE を運営しているかについて理解を深めることができた。特に第 4 回運営委員会において、今後の交渉の方針や JUSTICE の運営に係る中長期的な方向性に関する協議の場に立ち会えたことは、大変有意義であった。また、同委員会にて、本研修の進捗状況の報告と海外調査の報告を行った。

##### (4) 各種セミナー等への参加

研修期間中に所外で開催された、①紀伊國屋書店電子書籍セミナー、②国立大学図書館

協会シンポジウム、③東京大学附属図書館研修プログラムに参加させていただいた。

①セミナーでは、日本における電子書籍の流通の現状と課題について、最新の情報を得ることができた。

②シンポジウムでは、電子ジャーナルの継続的・安定的な整備に関わる諸問題について、各大学の具体例を知る機会となった。

③研修プログラムでは、JUSTICE 作業部会委員としての実体験から見た JUSTICE 活動の面白さについて聞くことができ、大いに刺激を受けた。

また所内では、実務研修報告会に1回、学術基盤推進部業務報告会に2回参加させていただいた。特に業務報告会では、図書館・連携協力室以外の学術基盤課や学術コンテンツ課といった、普段業務で関わる機会が少ない他部署の多様な業務内容について、理解を深めることができた。

#### (5) 海外への訪問調査

2018年1月15日～19日の期間、イギリスの Jisc Collections, RLUK および Imperial College London への訪問調査に参加させていただいた。イギリスにおける電子ジャーナル整備に係る交渉・契約状況に関して、日本とは異なる姿勢や交渉スタイルを見聞する貴重な機会となった。

### 5 受入体制・研修環境

- ・自宅がNIIからの通勤圏内であったため、住居・通勤に関して特段問題はなかった。
- ・図書館連携・協力室（JUSTICE 事務局）内に執務机、パソコン、ロッカーの他、事前に入館許可証、名刺貼付用のシール、メールアドレスが用意されており、初日から業務に取り組める環境を整備していただいた。
- ・研修テーマに関しては、研修テーマの企画・立案・計画を決定した後も、週に1回程度のペースで進捗状況の報告と課題に対する相談に時間を取っていただいたので、短い研修期間にもかかわらず問題なく進めることができた。

### 6 研修を終えて

本研修期間中、事務局から必要な情報、相談の機会、資料を作成するために必要な時間等を十分に提供いただいた。そのためじっくりと研修テーマに取り組むことができ、これまでに JUSTICE が積み上げてきた交渉に関するノウハウを、可視化することができたと感じている。本研修を通して、JUSTICE の会員館として、また交渉作業部会委員としての自覚を改めて強く感じ、今後の JUSTICE の活動により自発的・積極的に関わっていきたいと考えている。研修生として受け入れてくださった NII 並びに JUSTICE 事務局の皆さま、また快く送り出してくださった一橋大学の皆さまに、深く感謝を申し上げたい。